

平成29年度第1回子ども・教育部会

1 開催日時 平成29年6月16日（金） 19時から20時22分まで

2 開催場所 東成区役所 3階301会議室

3 出席者の氏名

【委員】

田中 英夫（議長）、濱田 麗史（副議長）、川人 誠二、小谷 早苗、小林
智恵子、杉原 博、西野 功、松田 和子、三枝 直美

【東成区役所】

麻野 篤（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課長）、
中須賀 孝（総合企画担当課長）、大野 聡（まちづくり担当課長）、北野 紀
子（児童・保健担当課長）、井上 徳久（まちづくり・教育支援担当課長代理）、
大野 孝文（児童・保健担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

平成28年度東成区運営方針の振り返り及び平成29年度の事業等について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○中須賀課長 皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、東成区区政会議子ども・教育部会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。私は進行を務めさせていただきます、東成区役所総合企画担当課長の中須賀でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、早速始めてまいりたいと思います。

まず、本日の開催状況でございますけれども、委員13名中、9名のご出席をいただいているため、本部会は有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

次に、本部会の公開についてですけれども、区政会議に準じて公開となっております。議事録や写真等についてもホームページ等で公開していく予定でございます。その点、ご理解のほどお願いいたします。

もう1点、お願いでございますが、携帯電話等につきましては電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

それでは、事前にお送りいたしました資料の確認をさせていただきます。本日の会議資料としまして、「平成29年度第1回東成区区政会議子ども・教育部会」、70ページものの資料と、追加資料としまして、本日、机上に置かせていただいております配席図、「みんなdeスポーツ教室」のチラシ。「ひがしなりっ子すくすく・つながる子育て情報」、2種類ございます。クラブのパンフレット。最後に、「世代間交流につながる区役所事業」ということで、以上お手元のない方いらっしゃいましたら、お手を挙げていただきましたら。よろしいでしょうか。

それでは、最初に区長の麻野からご挨拶をさせていただきます。

○麻野区長　皆さん、こんばんは。東成区長の麻野です。

本日はお忙しい中、平成29年度第1回目の区政会議子ども・教育部会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。今般、当区役所におきまして、平成28年度運営方針の振り返り、それから、自己評価を行いました。本日の部会では、その結果のご報告とあわせて、今年度の主な取組みを説明させていただき、皆様方のご意見をいただきたいと思います。部会からいただきましたご意見やご提案につきましては、今後の施策や事業に活かしてまいりたいと考えておりますので、よろしくご願いたします。

当区役所では、防犯・防災、子育て・教育、福祉・健康、まちのにぎわい、それか

ら、区役所のサービス向上と、この5本柱で事業を行っているところでございますけれども、今年度も新しい施策をどんどん打ち込んでいきたいと思っておりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

それから、去る4月に日本政府で閣議了解されました2025年日本万国博覧会の大阪誘致につきましても、区役所としましてはさまざまな取組みを行ってまいり所存でございますので、皆様方のご支援、ご協力方、よろしくお願いいたします。

それでは、本日も忌憚のないご意見をいただきましたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○中須賀課長 申し遅れました。お手元にお配りしております配席図の中で、大内委員、当初出席していただける予定だったんですけど、急遽欠席となりました。ご報告をさせていただきます。

それでは、田中部会議長並びに濱田副議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○田中議長 皆さん、こんばんは。ただいまご紹介いただきました部会議長の田中と申します。本部会が有意義に進行いたしますように、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、平成29年度の第1回目子ども・教育部会の議事に入ります。

本日の議題は、議題1に「平成28年度東成区運営方針の振り返り及び平成29年度の事業等について」そして、議題2に「その他」を予定しております。

まず、議題1について区役所より「振り返り」と「29年度の事業等」を続けてご説明していただきました後、委員の皆様のご意見をお聞きしていきたいと思っております。またその後、議題2の「その他」に移ります。

短い時間でできるだけ多くの委員の皆さんにご意見をお聞きしたいと思っておりますので、円滑な進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。また、前向きなご意見をいた

だき、実りある有意義な部会にしていきたいとも思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、区役所より説明をできるだけ簡潔にお願いいたします。

○中須賀課長　それでは、最初にお配りしております資料の見方につきまして、私、中須賀の方から説明をさせていただきます。

表紙の次第に記載しておりますけれども、今回の議題1は、28年度の運営方針の振り返り。それと、今年度、29年度の事業等についてであります。資料の3ページをご覧くださいまして、3ページの上段に記載しておりますように、運営方針と申しますのは、市政改革プランなど全市的な方針を踏まえまして、東成区で行う施策の全体像を示す方針として、毎年度策定しているもので、さまざまな課題解決のための施策や、具体的取組を示しているものでございます。

東成区では、28年度につきましては、その下の表に記載しております5つの課題について重点的に取り組んできたところです。参考に関連する部会という欄をご覧くださいまして、この子ども・教育部会では、課題2の子育て支援の充実、これがこの部会でご報告させていただく項目でございます。この資料では、7ページから9ページにかけてが今回の議題となっております。

中身につきまして、後ほど担当の課長から説明をさせていただきます。

4ページを開けていただきまして、この資料5ページから18ページに至るまでのこの資料の見方を説明させていただきます。今回使います資料は、28年度と29年度の東成区の運営方針ですが、そこから要点部分を抜き取りまして、見やすく、わかりやすくという観点で編集したつもりでございます。

この19ページから45ページ、この部分が大阪市の様式の28年度の運営方針ということになっておりまして、続きます47ページから最後70ページまで、これが29年度の運営方針となっております。

戻っていただきまして、この4ページ、上の部分ですが、区政会議資料と運

営方針の対比例といたしまして、区政会議資料5ページの記載部分を例にしまして、この28年度、29年度のそれぞれ運営方針のどの部分を引っ張り出してきてるかということを示しております。ちょうど下半分にその参考資料で、参考資料1、P24と書いて、28年度の運営方針、例示をしていますけれど、この24ページの運営方針のこの太枠の部分から持ってきてますよということをごさしまして、概要部分を今回資料として作成しておりますが、より詳しく確認される場合は、その本体部分をご覧いただけたらと思います。

同じく、その真ん中部分に29年度の主な取組内容、参考資料2、P50参照と書いておりますけれども、これも本体部分の50ページ、詳しくは50ページに記載している部分を、その概要についてここに引っ張り出してるということをごさします。

それぞれ参考資料1の何ページ、参考資料2の何ページというように、抜粋したところのページを記載しておりますので、その該当のページをご覧いただけたらと思います。

資料の見方については、以上でございます。

それでは、順次中身の説明をさせていただきます。

○大野課長 教育担当課長の大野でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、私の方から学校教育に関しましてご説明させていただきます。7ページをご覧いただけますでしょうか。

具体的取組2-1-1、子どもが育つ良好な環境整備ということをごさしますけれども、取組みの内容につきましては、小中学校の校長先生と区との意見交換会を通じまして、学校が必要とする支援を行うというものでございます。業績目標として挙げておりましたのが、区役所と連携した事業に満足と感じる学校の割合60%としておりましたところをごさします。

具体的には、学校長との意見交換会を17回、教育行政連絡会を6回、土曜授業等での区職員の協力を24回、学校協議会への参加を57回、区内全小学校が集う講演会等の

開催を2回、それぞれ実施いたしました。

アンケートの結果、区役所と連携した事業に満足と感じる学校の割合が100%というところでございましたので、業績目標としては達成としているところでございます。

平成29年度の運営方針といたしましては、引き続き小中学校の校長との意見交換を行い、学校が必要とする支援を行うこととしているところでございます。

その他といたしまして、子どもたちがスポーツに取り組むきっかけづくりとして、子どもと保護者を対象に、運動に親しむ機会を提供するスポーツ講座を開催することとしておりまして、みんなdeスポーツ教室という新規事業を企画してございます。こちらにつきましては、後ほどご説明させていただきます。

運営方針につきましては、以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○北野課長 担当課長の北野と申します。よろしくお願いいたします。

続きまして、私の方から子育て支援の充実について説明させていただきます。資料の前段としまして、子育て支援につきましては、子育て家庭の満足度を高め、安心して子育てができるよう、身近な相談、支援体制の充実や、地域社会全体で子育て家庭を支援する仕組みの充実と、ニーズに対応した保育所枠の確保を目的に取り組んできたところです。

7ページの下の段の方の具体的取組2-2-1、子育てネットワーク構築支援事業のところをご覧ください。

まず、28年度の業績目標につきましては、身近な地域で気軽に子育ての相談ができると感じている子育て中の区民の割合を50%以上と目標にしておりました。子育てイベントの参加者へのアンケートを実施しまして、85%の方が相談ができると感じている。また、ある程度感じているとご回答いただき、目標の方は達成できたと評価しております。

28年度実施しました中身につきましては、1つ目のところの「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」についてです。参考にお配りさせていただいている青いチラ

シですが、会員を募集しておりまして、いろんなサービスを使っていただいていたんですけれども、年度末の登録人数につきましては、1,551人のご登録をいただいたところなんです。カードにつきましても、参考に皆さんにお返しさせていただきますので、後で回収させていただきますが、順次見ていただけたらと思います。

このクラブにつきましては、この4月から全国の協賛店舗でサービスを受けることができるという内閣府の全国共通子育て支援パスポートと連携をはかることができましたので、今回カードを更新していただくということで、より充実したサービスが提供できるものになっております。

現在、過去にもう既にご登録いただいている方には、広報紙などを通じまして、カードの更新などをお願いしているところでございます。

2つ目のイベントについてですが、27年度に引き続きまして、「子育てふれあいサークル大・集・合！」や、「ひがしなりっ子すくすく・つながるうんどうかい」を実施してまいりました。また、「ひがしなりっ子すくすく・つながるランド」につきましては、より親しみやすくなるように工夫をしまして、昨年度から子育てフォーラムという名称から変更して実施したところです。

また、プラザフェスタにつきましては、27年度は1回のみの実施だったんですけれども、28年度につきましては、深江小学校と区民センターの2回に分けて開催してまいりました。

全てのイベントを通じ集計しまして、延べ1,330人の親子にご参加いただいたところです。

最後の3つ目なんですけれども、子育てボランティア、これ「子育て応援さんぽっぽ」っていうんですけれども、各地域の子育てサークルなどに派遣いたしまして、手遊び、絵本の読み聞かせなどで地域の子育てサークルを支援してまいりました。

次のページになりますが、29年度につきましても、引き続き、「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の充実や、子育てイベントの実施、子育てボランティアの

育成、派遣など、子育て家庭と地域のつながりをつくる支援する仕組みづくりを充実してまいりたいと考えております。

今年度ですけれども、子育てふれあいサークルにつきましては、この7月5日の水曜日に、「ひがしなりっ子すくすく・つながるうんどうかい」については9月の13日、水曜日に、「ひがしなりっ子すくすく・つながるランド」は11月8日、水曜日に、いずれも区民センターで開催することが決定しています。

続きまして、次の具体的取組2-2-2、子育てにかかる情報提供の充実としましては、28年度の業績目標を区役所からの子育て情報が充実していると感じる区民の割合を60%以上としておりました。昨年度イベントや乳幼児健診等にアンケートを取りまして、81%の方が充実している、または、ある程度感じているというご回答をいただきましたので、こちらの方についても目標は達成できたというふうに思っております。

28年度の具体的取組としましては、1つ目のフェイスブックでの情報発信としまして、子育てに役立つ情報や、子育て家庭向けイベントや、地域交流情報を月20回以上、年間合計269回、情報発信してまいりました。現在、フェイスブックには219人の方がフォローしていただいているところです。

次の2つ目、3つ目なんですけれども、子育て応援隊の方と一緒に編集会議を年2回開催いたしまして、子育て情報のリーフレットを12月に作成しました。お配りします小さな情報誌なんですけれども、そちらを作成してまいりました。現在、母子手帳を配付しているときなどにお配りしています。

次の平成29年度の取組みとしましても、引き続き広報紙やホームページ、フェイスブックに加えまして、現在4月からメールマガジンも始めておりまして、こういうツールを使いまして、子育て家庭に必要とされますさまざまな情報を発信してまいりたいと考えております。

続きまして、具体的取組2-2-3、保育所待機児童の解消についてでございます。

業績目標であります待機児童ゼロについてですが、この4月の東成区の待機児童数はゼロ人を実現することができております。

具体的取組としましては、保育所長会や民間園長会、また、一斉入所選考時の各園への訪問時の際に、保育人数受け入れの拡大をお願いしてきたところです。保育士の確保が現在非常に難しくなっている現状ではありますけれども、各園のご理解、ご協力もあり、目標数値の方は達成できたと考えております。ただ、育休中でありましたり、調査日時点で求職活動を行っていないなどという児童は保留児童とされ、それが60人ほどこの4月でカウントされておりました。現時点も年度途中の0歳、1歳、2歳児の入所希望者は非常に入所が難しい状況になっております。

29年度の主な取組み内容としましてですが、引き続き保育所枠の拡大に努めてまいりたいと考えております。

また、来年度に向けまして、現時点で既にもう公募しておりました、80人規模の民間の認可保育所が2社決定しております。0歳、1歳、2歳児対象の小規模保育所の施設については、現在も募集中になっております。今、市長が力を入れております区役所内保育所施設についても、現在あわせて募集しているところでございます。

私の方からは、以上になります。よろしく願いいたします。

○田中議長　ありがとうございます。ただいま、区役所の大野課長さん並びに北野課長さんより、28年度の振り返り及び29年度の事業等についての説明がございました。これにつきまして、委員の皆様から何かご質問、ご意見はございませんでしょうか。時間は十分ありますので。

西野委員さん。

○西野委員　地域の問題になりますけれども、保育所の待機の方で、結構市長も力を入れておられると思いますし、当然そこにこども青少年局も頑張っておられると思いますけれども、地元の保育所として、大成保育所があるんです。大成保育所があつて、ちょうど空きの部屋というか、前が大成老人憩の家になってまして、保育所と入り口

が違いますけども、2階が空いていて、使っていないんです。憩の家、別のところへ行きましたから。だから、まるまるその2階が空いてて、少しでも待機、子どもさんに部屋の提供というか、部屋の部分でその保育所にあてるということは、極端にいうたら、入り口が違うからとか、耐震の問題もあるのかなという部分をちょっと持てますけども、結局部屋が空いてますので、空いてるのをみすみす空けておくというのももったいない話でございますので、有効利用できるものか、できないものかという部分をお聞きしたいなと思ひまして。

○北野課長　　実は、空いてる部分については、現時点、こども青少年局が今運営している保育所の事業者さんに、倉庫としてお貸ししていると聞いております。拡張して保育所にするとすると、相当の費用がかかるというふうにこども局から聞いておひまして、現時点では拡張して保育所として運営するということは検討の中に入っていないと聞いております。

○西野委員　　それだけ費用がかかるってということですね。

○北野課長　　そうです。

○西野委員　　何か昔ちょっと入れたような感じがするけど、もとに戻していろいろしないとあかんという事情もあるみたいですね。ちらっと聞いたんですが。

○北野課長　　もとに戻すかどうかも含めまして、やっぱり保育所として必要な設備というのがありますので、そういう整備も含めまして、大分の金額がかかるから、保育枠を拡大していくっていうのは、検討に入っていないっていうふうに聞いております。

○西野委員　　地域として見てたら、空いてるんでね。空いてるから、ちょっとでも解消にならないかと思ひまして。それでお聞きしたんですけども。

○木口副区長　　現状は、十分区役所としても把握してまして、局とやり取りはさせていただいてるんですけども、なかなかいろいろ難しい問題もあるようでございまして。

○西野委員 多分、お金のこともあるのかなという部分もあると思いますねんけど。

○木口副区長 多分、それが大きな問題だと思うんですけど。

○西野委員 ありがとうございます。

○木口副区長 ありがとうございます。

○田中議長 他の方、何かございます。

○三枝委員 2-2-1ですかね。子育ての相談ができる方が地域に身近にいらっしやるということの質問、アンケートですかね。これで実績85%というのはすごく高い数字だなと思います。次のページの81%もすごい高い数字だなと思うんですね。このアンケートを行ったところがそのイベントの参加者ということですから、もちろんおおむね好意的な方たちがお答えになったんだらうっていうのは想像できます。その中でも、この15%とか、19%の人たちはどういう部分でそう感じてないのかっていうところは何か書いてる答えはあるんでしょうか。

もう一つ、例えば、どんな人が身近な相談者なんだらうっていうのも気になったんですけども。おおむね好意的な方たちへのアンケートですから、高いのは理解できるんですけど、だったら低い率の人たちはどうなんだらうなっていうのも考えたので、そうでなければ、本当に一般的にアンケートをなさったら、ここまで高いパーセンテージは出なかったんだらうとは思ってますので、残り15%とか、そういう方たちの考えの中に、多分そうでない、ここに参加されてない方たちの意見が含まれるんじゃないかなって思ったもので、そこを上げていく努力も必要かなと思います。

○北野課長 ありがとうございます。そこはちょっといわゆるサイレントマジョリティーのニーズをどう測るかっていうのは、今も内部で検討しておりまして、取り方ですね。アンケートでなかなかご協力いただけないとかいうのもあるので、そこは課題と認識しまして、今年度も検討を進めてまいりたいと思っております。ありがとうございます。

○三枝委員 アンケートの中で、では何でっていうところをちょっと1項目増やし

ていただけたら、そこら辺が出てくるかもしれないとは思いますが。

○北野課長 アンケートについてもイベントはこれからになりますので、そういう取り方も検討しまして進めてまいります。ありがとうございます。

○木口副区長 アンケートの取り方に2種類ありまして、無作為抽出でとる場合と、イベントとかに参加していただいた場合を取るケースと、このケースは後の方でございますので、無作為抽出ですのようなアンケートの時にも、こういう質問をすることは可能ですので、一度その辺も含めて検討させていただきたいと思っております。

○田中議長 これアンケート用紙の内容というのは、皆さんに把握していただけますか。

○木口副区長 それは可能です。

○田中議長 どんなことを聞いているか、私らは全然わからないんですが。

○木口副区長 すぐ用意できますか。

○北野課長 昨年のですか。

○木口副区長 イベントの時に取ったアンケートの内容。

○田中議長 そのパーセンテージの数字だけしか見えてないので。

○木口副区長 何項目かしてるはずですけど。

○田中議長 そうですね。

○大野課長代理 昨年3つぐらい大きなイベントをしてるんですけども。

○田中議長 口頭でも結構ですけど。

○大野課長代理 そのうちのすくすく・つながるうんどうかいというのを、去年の9月にやっておりますので、その時のアンケート用紙と、来月の5日にふれあいサークル大集合というイベントがあるんですけども、そのアンケートの案ですね。まだ、案の状態、これから煮詰まっていくんですけども、そちらの方は用意させていただいておりますので、お配りさせていただいてもよろしいですか。

○田中議長 2種類、今お配りしていただいているので、目を通していただけますか。

○大野課長代理　　すくすく・つながるうんどうかいのアンケートは、部会長おっしゃるように両面ありまして、付加説明させていただきたいんですけども、昨年度の記憶にしておりますのは、第2回のこの部会で委員の方から先ほどご説明させていただきましたこのすくすく・つながるクラブですね。並びに、こういう情報誌の方がどれくらい区民の方のお役に立っておるかというふうなご意見を頂戴したことがございます。それを測るという意味合いで、すくすく・つながる運動会のアンケートの中に、この子育ての情報誌の関係で、この情報誌は役に立ってますかどうかという質問事項を記載させていただいておるところでございます。

対しまして、もう一枚のふれあいサークル大集合アンケート案というものにつきましては、これは片面しかないんですけども、こちらについては、先ほど課長からもご説明させていただきました、満足されていますかというふうな項目の方を中心にアンケートを取らせていただいている次第でございます。

○田中議長　　パーセンテージが50%目標で、実績が85%ということは、このアンケートの回答で今の満足している方を抽出した数になりますかね。

○大野課長代理　　そうです。実は、もう一方のアンケートの実績はイベントだけのアンケートではございませんので、乳幼児の健診というものを保健福祉センターの分館でやらさせていただいております、3カ月児健診と、1歳半健診と、3歳児健診というのがございますが、その健診で来ていただいた保護者の方にも同じような形でアンケートの方も取らせていただいております、その集計といたしまして、その81%ということで頂戴しております。

○田中議長　　健診とこのサークルとか、もう皆ひっくるめてですね。

○大野課長代理　　そうです。ひっくるめてのアンケート結果というふうになります。

○田中議長　　ありがとうございます。何かお気づきの点ございましたら。

○松田委員　　松田と申します。私、主任児童員を務めております、今皆さんとご配られたこういうカードを実際各家庭にお配りすることもあつたりして、その直接お

母様方に配ってるという関係で、非常に気になるのが、このカードを協賛店に持っていったら何かいただけるとかいうのが、今ここにもありますけれども、どれぐらい使われているんでしょうかというのをちょっと気になっているということと、もう一つがこの大きなイベント。子育てサークルをさせてもらってる中で、このカードを実際持ってきて、この番号を控えてっていう機会が、正直あんまりないんですけれど、大きなイベント、今度する7月5日のイベントもありますけれども、去年度、大体どれぐらいの方がこのカードを持って来られたのかなど。

○大野課長代理　　まず、委員ご質問の1点目、協賛店舗に持って行かれて、どれくらいこのカードのサービスを受けているかっていう点につきましては、統計は取れていない状態です。有効活用という意味合いでは、その辺の数字的なものはちょっと今後把握をしていくことも必要かとは思っておりますが、現状は取れてないのが実情でございます。

2点目のイベントで、どれくらいカードを持参されてるかということなんですけども、そのカードを持ってきておられた方、持ってきていない方の数字的なものは受付簿の方で委員ご指摘のように書いていただいているので、その受付簿を集計すればわかることなんですけども、すいません。そちらの集計も正直できておりませんが、少なくとも概要で認識しておるのは、半分以上の方はカードをご持参していただいているのかなということは、受付簿を見ましたら、持って来てない方よりも多いということは把握はできているところでございます。

○松田委員　　せっかくこのかわいいカードなので、皆さんに持って来ていただけたら、配ってる関係もあるんですけど、いただきたいなと思ってます。

こんなにも協賛店があるっていうことは、このカードに入ってくださいというきっかけになると思うので、これからもいい協賛店を誘致していただいたらなと思います。

○田中議長　　協賛店いうのは大阪府内って書いてますね。

○北野課長　　府内も使えますし、区内の協賛店もありますし、今年からは全国の協

賛店も使えるようになってまして、一覧は付けてないんですが。

○田中議長　大阪府内の会員約12万人って書いてます。持ってる人、私ら児童委員と違うから見たことないんですが。

○西野委員　アンケートに入ってますな。主任児童委員を知ってますかというのが。

○松田委員　周知するために、皆さんに知っていただくために、7月5日、頑張らせてもらいます。

○田中議長　町会の役員さんでも主任児童委員って、民生委員、児童委員は知ってるけども、お顔とかお名前まではね。学校の玄関のところに看板が立ててあるんですがね。見てる人もないですよ。

○小林委員　児童委員さんがもう少しそういう保護者に説明されて、こういうカードがありますからということでお話ししたらどうですか。

○松田委員　区役所で何か健診とかの機会があるたびに、区役所の方が説明していただいているんですけど。私たちはこういうイベントを通して、少しでも知っていただくようにとか、学校との密な連携を何とかはからなあかんなどいうのを感じてやっています。

○田中議長　今年の7月5日のアンケート、また集計できたら知らせてほしいですね。項目別にね。

○小谷委員　先ほど三枝委員さんが、身近な地域で気軽に子育ての相談ができるっていうふうにおっしゃられた時に、主任児童委員さんと、まず後、返答がなかったので、他にはっていう感じでしたが、どんな方が相談できる人になっているのか。

○大野課長代理　主任児童委員さんはもちろんですけども、あとは民生委員、児童委員さんも、もちろん地域のそういう相談にも乗っていただきますし、身近な地域といえるかどうかかわからないですけども、区役所にも家庭児童相談員という相談員もおります。あと、公的な機関でいいますと、子ども・子育てプラザというのが区の北側の方にあるんですけども、そちらの方と、区役所の中に子育て支援センターもござ

いますので、そういうふうなところではご相談いただけるのかなと思っております。

○松田委員　子育てサークルの方に保健師さんとか保育士さんとかが出張で来ていただいたりとか、プラザさんに来ていただいたりとかしてます。

○小谷委員　これに書いてあるような子育てに困ったらとかいう、これ見てたら。

○大野課長代理　まさしく。

○小谷委員　そうですね。

○大野課長代理　はい。そのとおりでございます。

○小谷委員　はい、わかりました。ありがとうございます。

○田中議長　ありがとうございます。

○西野委員　大体今その言ってる活動とか、やっぱり地域の集会所とか、そういうところに来られていろんな指導をなさるといふか、その分も各地域で割り当てして、何曜日とか時間帯を決められて、多分来てはると思いますけども、なかなか皆さんがそうやって区役所に聞きはる方とか、こうやって読みはる部分の中で周知して見はったら一番いいけど、なかなか今忙しいお母さん方が多いもので、ゆっくりと見はるといふのがなかなかないと思いますけどね。だから、いかにわかってもらうかという部分はしっかりとやってあげていただけたらなと思います。なかなかゆっくり見てはる人もいてないと思いますね。

○田中議長　広報紙で「ひがしなりだより」ありますが、それには掲載されてるんでしょうか。

○大野課長代理　もちろん。毎月ではないですけども。

○田中議長　だから毎月見てはったら、ある程度そういう情報は取れますよね。

○小谷委員　もう一つ聞きたいことがあるんですけど、学校長との意見交換っていうのがあるじゃないですか。あれは区役所と学校長だけの話し合いだと思うんですけど、そういう中に保護者が入ったりっていうことは、できないんでしょうかね。何かそういう話し合いの中で、1回ぐらいは保護者との意見交換っていうか、PTAの会

長さんなり、各学校の会長さんなりに来てもらってもよろしいんですけど、その学校と保護者と地域でという話し合いも入れてほしいなというのがあるんですけど。

○西野委員 僕も今まさに一緒のことを聞こうと思ってました。17回という意見交換会、校長会か教頭会かそういう中でやってるんですかね。

○大野課長 それ別にはしてるんですけど。

○西野委員 別にしてるの。

○大野課長 はい。

○西野委員 ちょっと一般論を言うてますので、全体の中で言うてて、昔から言ってるその開かれた学校と言ってるものの、まだその意見交換会というの、やっぱり今言われたとおりで、学校長とお役所だけじゃなくて、地域ももっと入らせてもらって、結局はその区役所と学校長の話だけで終わってて、後でえらい目遭うの地域なんです。何かあって、もうちょっと教えてもらったら、もっと地域も助けてあげたいという部分もあるねんけども、突発的にぱっと来られて、そういうほんまの意見交換ってやってるんかと思ってね。

○木口副区長 ここに学校協議会への参加ということで、57回と書かせていただいているんですけども、これは学校と地域とPTAに入らせていただいて、区役所も入らせていただいています。

○杉原委員 その地域もある程度民生の主任児童委員さんにしぼりますとか言って。

○木口副区長 人選は学校の方にお任せしてるような状況でございますので。

○杉原委員 学校によって異なるわけですね。

○木口副区長 はい、大分違いがありますね。

○川人委員 私が答えるべきか迷ったんですが、学校協議会っていうのは、学校長が学校の方針、運営方針を定めて、それに基づいて学校のPTAが中心になったり、あと地域の保護者、それから、地域の方も一部そこにおいて、保護者っていうか、保護者をリタイアされた方も入っていただいたりする運営委員会があります。僕、3月ま

でP T Aの会長をしてたんですけど、毎回の学校協議会3回ありましたけど、もうこの何年常に井上さん一緒に出ていただいているので、その中の話し合いはしていただいているんですが、学校協議会とまた違った意見がもし出てるとすれば、そういう意見も聞きたいという話は、多分私たちも同じだと思います。

○西野委員　　そういうことなんです。学校協議会の中で、年度のその方針決めはりますね。それだけで大概終わっている部分があって、もっと意見を言ってということはなかなかできてないんです。

○川人委員　　学校協議会の中で、学校の運営だけじゃなくて、学校側がこういうことを要請しているとか、そういう情報とかがあれば知りたいっていうのは、今お話があったのかもしれないです。

○西野委員　　僕らの知りたいのはそこなんです。学校でやっぱりそうやって困ることがあるんだったら、やっぱりもっと知らせてほしいんです。どこまで言いはるか、どこまで言われへんのかちょっとわからないけども、もう何かそんなふうになんか見えてくるところがあるんです。

○木口副区長　　一応、今日そういうお話がありましたので、我々も学校協議会に出ていますので、そういう話もさせていただきますし、それと、校長先生方にもそういうご意見があったということはよく伝えておくようにさせていただきます。ありがとうございます。

○田中議長　　私も学校協議会のメンバーですねんけども、区役所の方も来られますけど、発言はしはりませんね。座っておられるだけです。

○井上課長代理　　オブザーバーといいますか、基本的には意見ができない立場にあるんです。

○田中議長　　言えないわけですか。

○大野課長　　一応、学校さんから振られることはありますので、時々しゃべったりはするんですけど。

○田中議長　　うちの地域は、学校長によく意見を言いますけどね。だから、もっと見守り隊増やしてほしいとか、P T Aさんに登下校時ぐらいいは立ってとか、大体地域の高齢者の方ばかりですよ。立っておられるの。

○西野委員　　ちょっと学校間によってやり方というか、そこは違う。

○田中議長　　登校時、今の8時10分から20分ぐらいの間、交番の連絡所からね。月に1回でもいいから、入り口のところに立ってもらったら、ここは通学路やな、入ったらあかんねんという地域の自動車を持ってる方が注意されると思うんだけど、なかなか立ってくれはりませんね。

○川人委員　　うちの校長は結構意見を言う方かもしれないので、いろいろ多分相談させてもらったりもしてると思う。区役所に限らず、地域とかで。例えば、去年は運動会の時に、私が会長してる時に、結構倒れた方が多かった。10人ぐらい倒れて、もうバタバタ倒れたんですね。結構暑くて。今年はどうだったかという、ウオータークーラー3台入れていただいたりしたんで。あとテントを地域の方に借りたりとかして、もう周り全部。

○田中議長　　囲みました。15張り。

○川人委員　　そういうことを相談しながらさせてもらったので、今年も熱中症で倒れるってことはなかったらしいんですね。それだけの違いで、今日もニュースとかで4人ぐらい重体でしたっけ、出たとかいうのがあったので、やっぱりかなり暑い日だったんですね。中学の運動会は。

○田中議長　　そうですね。天気よかったですしね。

○川人委員　　すごく改善してるなっていうのは感じましたので、やっぱり地域と、中学校、学校とはしっかりかかわりを持っていかないといけないですし、もちろん、その地域の一つとして、やっぱり区っていうのは大きな存在になると思いますので、それは本当に感じました。実感しました。

○西野委員　　運動会も日にち変えておられますもんね。その学校によって、暑い時

にやらんと。

○杉原委員 6月にやる学校がかなり多くなりましたよね。早かったら、もう5月の末に運動会して。

○田中議長 5月末のところがありました。

○西野委員 気候も考えてるんですね。やっぱり。

○杉原委員 確かにテントはもう地域から貸し出してます。

○田中議長 大分違いますね。

○川人委員 やっぱり。かなり違うかったみたいですよ。

○杉原委員 何か練習の時からでも、ちょっと待機する場所いうたらテントの中に入るっていう、そういう対応はしてるみたいですね。

○小林委員 昨年、うち深江と宝栄さんで東陽中学の70周年記念の時に、テントと製氷機寄贈させていただきました。

○川人委員 実は、それをお聞きして、相生はちょっとさすがにそこまで負担難しいと思ったので。

○小林委員 随分寄附させていただきました。

○川人委員 地域の方をお願いして借りるっていう形をとらせてもらったんだと思うんです。東陽中の話を聞かなかつたら、多分そういうことも起こせなかつたので。

○田中議長 他に何か。また後でも結構ですけども、とりあえず議題1の平成28年度東成区運営方針の振り返り及び29年度の事業についての議論を、一旦終了してまいりたいと思います。

次の議題が、議題2のその他についてですが、まず追加資料があるようです。

そうしたら区役所の方から、また大野課長さん、お願いいたします。

○大野課長 続きまして、議題2のその他につきまして、1点目です。「みんなdeスポーツ教室」につきまして、説明させていただきます。お配りしておりますこちらのチラシをご覧ください。

平成28年度の第2回区政会議の本会議におきまして、子ども・教育部会の方から子どもの体力向上についてということでご提言をいただきました。子どもが運動する機会と場所が少なくなっているということも原因と考えられますが、昔に比べると、走ったり、ボールを投げたりといった一般的な動作がうまくできない子どもが増えた印象があるというご意見をいただきました。大阪市では「夢・授業」といたしまして、学校にトップアスリートを招聘しまして、夢を持つことの大切さを語っていただくとともに、実際に実技指導も行っていただいておりますけれども、希望する学校が多く日程が合わないなど、開催できずにいる学校もございます。

子ども・教育部会では、このトップアスリートによる「夢・授業」に加えまして、体育系大学の講師やアスリート、実業団などを招いて、見本になるよう子どもたちに教えてもらい、体力や運動能力の向上につなげていくという方策を検討してもらいたいといったご提言をいただいたところでございます。このご提言を平成29年度に予算化することができまして、このたび「みんなdeスポーツ教室」という事業を開催させていただくことといたしました。

裏面に事業概要を記載してございますけれども、子どもと保護者を対象にスポーツをする機会を提供し、また、子どもがスポーツに関心や興味を持って、スポーツに取り組むきっかけとすることで、子どもの運動能力や体力の向上につなげるとしております。豪華講師陣のパフォーマンスを目の当たりにし、また、直接指導を受けることで、それぞれの種目のコツを学ぶことができ、運動の得意な子も苦手な子も、誰でも楽しめるプログラムということになってございます。

表面に戻っていただきまして、事業につきましてはアシックスジャパン株式会社が運営主体となりまして、低学年の方には、かけっこ、フリースタイルフットボール、なわとびパフォーマンスを3日間に分けて体験していただきます。高学年には、かけっこフリースタイルフットボールを1日で体験していただくこととしておりまして、いずれも保護者の方同伴とさせていただきます。6月21日の水曜日を締め切り

としておりますけれども、本日時点で、まだ高学年の部に少々余裕がございます。お近くの方で興味がおありの方がいらっしゃいましたら、ぜひお声かけいただきますようお願いいたします。

私からは以上でございます。

○田中議長 ありがとうございます。続いて北野課長さん。

○北野課長 私の方からも、前回の区政会議でご意見いただいたものの取り組む方向についてご報告させていただきます。

世代間交流につながる区役所事業という両面刷りの資料をお配りしているんですけども、こちらをご参照ください。

前回の区政会議で、子育て世代とその他の世代がつながりをより深めるために、いろいろな世代が集まれるイベントをとということでご提言をいただいております。現在、先ほどもご報告しましたように、大きなイベントを4つ抱えておりまして、今の体制で新たなイベントを立ち上げるというのは難しい状況かなと思っております。

ただ、資料にもありますように、世代間交流につながる事業としまして、「しぜんふれあいフェスタ」であったり、「モノづくり体験フェスタ」というのを実施しております。これは、情報をいただいている分なんですけれども、裏面の老人福祉センターさんでも、世代間交流事業と銘打ちはりまして、親・子・孫の3世代で楽しむ「子どもいろいろ体験教室」であったり、子どもと一緒に野菜収穫体験であったり、ダイバーシティ地域交流事業ということで「ニュースポーツ&健康づくりフィットネス体験」というのをされてるところです。

ただ、こういうところにいかに子どもたちを呼ぶかというのは課題であると思っておりますので、こちらでやっております、先ほどのすくすく・つながるクラブのメールマガジンの会員さんであったり、フェイスブックであったり、ホームページであったりとか、そういうユーザーさんに対して、情報をお届けして参加者を増やすなど、連携を図るということをしていきたいと考えております。

このような取組みを通じまして、少しでも世代間交流イベントに幅広い参加者が集まるように工夫してまいりたいと考えております。

私からは以上になります。

○田中議長　　どうもありがとうございます。ただいま説明のありました、「みんなd e スポーツ教室」並びに「世代間交流事業」について、何かご質問やご意見はございませんでしょうか。

締め切りがまだですね。「みんなd e スポーツ」は21日ですね。現状はどのぐらいの応募ですか。

○大野課長　　高学年の方が相当枠がまだございます。

○三枝委員　　低学年は埋まった。

○大野課長　　低学年は埋まってしまって抽選になるんですけど。

○田中議長　　これも、「ひがしなりだより」に載ってたんですね。

○大野課長　　はい。載ってます。学校にもこのチラシを送らせていただいておりますけれども、配った当初はばばばっと来るんですけど、やはりその後が厳しいということですね。今日と月曜日ですかね。ケーブルテレビのJ : COMさんでもテロップ等で流していただいているようですので、リアクションあるかなと思ったんですけど、今日のところは特にはないようです。

○田中議長　　当日は取材に来られるんですかね。J : COMさんは。

○大野課長　　J : COMさん、当日来られるということです。

○田中議長　　世代間交流のこれは、今年は2月26日の日曜日に10時から15時まで、東成スポーツセンターで行われた行事ですけども、今まではニューススポーツだけでしたけども、今は、ニューススポーツ並びに風船バレー、ドッチビー、ボッチャ。そして、フィットネス体操、今年は初めて空手演武の型とか、いろんな催し物をしました。一番人気のあったのは血圧測定でした。並んでました。看護師さんが来て、身体測定から握力。

○西野委員 血管年齢分かるから。

○田中議長 何歳に当たりますとかね。これは昼までしたけども、昼過ぎてもまだ並んでた。ほぼ100名ぐらい来られてたかな。主催団体が多いですよ。下の方を見ていただいたらあると思うんですけど、スポーツ推進協議会から身体障害者福祉会とか、子供会育成連絡協議会、子ども・子育てプラザも参加されてますね。老人クラブ連合会、グラウンドゴルフ連盟、東成区役所。東成区役所さん来てたかな。誰も来てなかったかな。

これ何回目やったか、5回目ぐらいですか。

○北野課長 何回目かは聞いてないですね。当日の参加人数はお伺いしまして。

○田中議長 百何名。

○北野課長 197人で。

○田中議長 197。

○北野課長 大人が144で、子どもが53であったとお伺いしています。もう少し子どもを参加できるように呼びかけをできないかなっていうふうには考えています。

○田中議長 そうですね。

○杉原委員 それだけ大人来ていたら並ぶわけですね。

○田中議長 子どもは血压みたいな並びませんよ。

○杉原委員 大人が多いからですね。

○田中議長 子どもさんのためにお菓子の千本引きいうのもやってますけどね。老人福祉センターもいろいろ考えておられる。初めのうちは50人ぐらいでした。始めた当時。それから、倍ぐらいになって、200人近い。

○西野委員 人数は増えてるといふか、子どもさんの数が。

○田中議長 やっぱイベントしようと思ったら、天候も左右されますので、雨やったらやっぱりなかなか。区民センターやから、まだ行きやすいんですけどね。スポーツセンターだと遠いから、なかなか来てくれません。

その他について質問とか、ご意見、どなたかございませんか。

○濱田副議長　それぞれがそれぞれなんですけど、もうどちらにしても、こういう行事やった時に、来る人はもう決まってるんですな。大体ね。動員する側も決まっておれば、来る人も決まって。だから、あの人この前も来とった、その人は何遍も、まあ言うたら血圧を測ったりしてる。そういうようなところで、もう少し動員する方法を考えないかんのやないかな。

そうすると、人間いうたら変なもので、何かくれるということになると集ってくる。何もなかったら、もう集ってこない。そこらも考えないかんしね。

こういう行事やる時に、東成には残念ながら大きい企業がないんで、寄附とか物品の提供などをしてくれるようなところがあればいいんですけど、そういうところが少ないもんですから、そういうことも含めて、もう少し動員する方法を考えないと、それぞれがそれぞれのことをやってるだけで終わってしまうような気がするんですね。本当にそれが区民のために、区民の幸せのためにやってるのかなっていうことが、ちょっと100人、200人来てもう多いからいうて、8万、10万の区民の中の100人、200人が来てええのかどうかね。そういうこと考えると、もっともっと動員する方法を考えなだめやなと思う。やってくれてる人はみんな大変でボランティアでやってもらってたんですけど、参加する方は何か損得がないと、いろいろと問題があるんですけど、見せてもらってて、こちらのアンケート今度やるんですけど、7月の分やったら子育ていうたら、まだ小学校も低学年までのような感じだし、このすくすく何とかと大人向けのようなアンケートで。

そのようなことで、子どもはこんなアンケートいうたって意味がわからんから、どうしても親になるのでね。最近はまだ何かフェイスブックとかメールマガジンがもう主流になってしまって、もうそれが絶対三種の神器やないけれど、それだけで多いや少ないや、最近のは特にフェイスブックがどうのこうのいうことで、もうトランプさんでもフェイスブック出てる言うて、政治までがそんな、何かどっかに心のつな

がったというか、人間味のあるようなところがだんだんなくなってきてるような気がするんで、もう少し方法も考えないかなのじゃないかな。満足してる方、まあまあ満足してるのか、満足とかいうことですけど、もう少しこれもどの辺が満足してるのかということも聞いてみたい。満足してない場合、どういうことが満足してないんだよとかいう具体的なことを聞いてみることも必要やないかなと思う。

ああしてくれ、こうしてくれは言うんだけど、それには皆お金がかかるんですね。お金のかかることはもうお役所任せで、言う人は言いたいこと言うし、文句言える、文句いうたら言い方おかしいですけど、意見か文句かわからんけれど、主張する人は徹底して主張しますし。主任児童委員を知ってますかというて聞いたって、半分以下じゃないですか。知ってるというのは。ただ、こういうことに参加してる人は、あの人はといえば、ああ、うちの近所の人やっていうことわかるけども、そういう聞き方もちょっとあるから、そのままのそのテーマで聞いているんじゃないかと、もっともっと具体的にこの案も練って見たらどうかなと思うんですね。

極端に言えば、こういうところで、こういう場でアンケートの委員つくって一遍考えてもらってもいいんじゃないかな。役所で一方的に考えるんじゃないかとね。お願いして、意見は皆述べてくれはるんですけど、このPTAでやってもらってる、やったとかいう経験のもとに、こういうアンケートはどうですかとかいうような意見も出してもらったらどうかなと。

そうしないと、これ固まって同じで、先ほどのカードの問題でも、子どもがカード持ってライフやこれ走り回ってるのたまに見ますけど、あれ何かもらうんかな。判こもらうんかな。ライフで、子どもさん、親についてきて、何かカード出してやってるけど、何かなと思ったけど、私、遠目に見ておるんですけどね。何かこういう協賛店舗で特典があるということで、ポイント制にやってるのかどうか。

○木口副区長　これにかかわってのポイントは、ちょっと私も聞いたことはないですけどね。お店ごとにやってるのか。

○濱田副議長　何かカード、それまた見せたらカードくれてね。それでまたやるのかなと思ったり。その辺もわからんし。協賛してくれるなら、協賛してくれるよなところのリストも作ってPRしてあげたら。そうしないと、結局自己満足だけで終わってしまうような気がするんですよ。50%の目標が80%やから、もうそれでいいんじゃないくて、目標がもう初めから100%であって、それに到達してる率を言うたら、下がってくる。上から見るか、下から見るかによってね。じゃないかなと思うんです。

子育ての方は特に私は低年齢層のお母さんというか、若い人がお母さんのアンケートなんか、本当に来てくれるのかなと思って。その辺で立ち話は奥さん方、お母さん方やってますよ。公園だとかでね。だけど、こういうところへ来てくれるんかね。

企画倒れにならんように、できるだけ具体的なものを、より一層いいことにしたいと、皆さんとともにやっていかなあかんので。ぼやいたとかぐちったらいかんの、こちらの方であんまりそういうことは言えないんですけど、意見を求められたら、そういうようなことをちょっと感じた。

○田中議長　ありがとうございます。欠席された方のこの部会に対する意見いうのはないんですか。

○中須賀課長　はい、ございません。

○田中議長　はい。本日の議題の1と2でご質問、ご意見ありませんか。

○川人委員　かけっこ教室なんか、仮にそのプロが教えてくれる1時間半で、1日、その1時間半だけで結果的に子どもたちが早くなるんだったら、始まる前と後に誰か集まってもらってタイムを測る。その結果が出れば子どもたちの自信になるでしょうし、次年度以降に、じゃあ、私も参加したいっていう方も増えると思います。よくテレビ番組とかでやってますが、プロが本当に教えたらスタートのテクニックとか、それだけで一気に。多分スタートだけでも、多分もうコンマ何秒とかすぐ縮まると思うんですよ。仮にするならですけど。

○井上課長代理　　私は実際に、講師の方の講義を低学年用と高学年用それぞれ見て
るんですけれども、体の動かし方、低学年は低学年なりのスタートする角度とかね。
決して実際に思い切り走らすわけではなくって、本当の基礎の基礎からってという感じ
で。ちょっと年齢が、学年が上がると、やっぱりそれなりに動きも大きくいうふうな
形で、日本代表の世界選手権等に出られてた方でしたので、私たちの見る限りでは、
非常にわかりやすい感じはしたんですが、もちろんその全ての児童が同じように効果
が発揮できるかどうかというのは、1回ではなかなか成功するかどうかは難しいんです
けれども、繰り返しできるようにできればなとは思っています。

○大野課長　　たまたまこの間ある小学校に来ていらっしゃる時に、我々見学も行か
せてもらったんですけど、その時もこの方幅跳びが専門の方でして、立ち幅跳びを子
どもたちに教えてくださったんですけど、やっぱり初めと教えてからでは明らかに距
離が違うように感じました。

○川人委員　　結果出してあげるって大切だと思うんですね。僕たち親が仮に聞きに
いくって、その人の体験談聞いて感動してってというのはあると思うんです。子どもた
ちはやっぱりスキルを高めるために来ると思う。来て喜ぶと思うので、もしそういう
前後でわかって、結果が本当に出るならですけどね。

○大野課長　　やっぱり子どもさんに対して、どこに視点、どこを見て、どこに力を
入れて、どう飛んでっていうのを、割とこう力学的というか、教えてくださるので、
もう露骨に結果が出てるような気がしました。

○三枝委員　　多分運営主体はアシックスさんなので、どこができるかどうかを区役
所の方に聞いてもらうっていうのはありかもしれませんよね。結果を出し、前後で出
してもらえるのかを。

○大野課長　　そうですね。それは考えてみます。

○濱田副議長　　これは1人だけで来はるのですか。何人も、10人ぐらい連れてきは
るのですか。コーチを。

○井上課長代理 主たる選手というのは1人で、あとは補助者。

○大野課長 サポートとしてです。

○井上課長代理 3～4人ぐらいですかね。

○大野課長 合計4人ほどですかね。看護師さんも来られます。

○濱田副議長 以前に私ちょっと言ったんですけど、大阪マラソンの時に、関西大学で陸上の指導役をやっているという先生いてまして、こういう行事やったら生徒を連れて行かせてもらいますとか言うてたんやけどね。陸上部の生徒を連れて行かせてもらいますというような話があったけど、ただ全部おんぶにだっこで、アシックスにもう任したからといって、それでしゃんしゃんではいかないので、もう少し何人ぐらい。そうでないと、子どもが30人も40人も集まって、先生1人や2人で説明してたら、みんな聞かへんから、だらだらになって、時間が経って終わりになってまうから。もう3人から5人のグループで指導者がついて徹底してやってくれるならいいけどね。その辺も、また具体的に内容一度聞いといたら。向こうへ任したからじゃなくて。

○大野課長 そうですね。

○濱田副議長 こちらが主催者。

○大野課長 今回初めてでしたので、1回やってみてもらって、いい点、悪い点、もちろん見えると思いますので、また、改善は当然していきたいと思います。

○小谷委員 これは毎年引き続いて行う行事かは、わかりませんよね。

○大野課長 先ほどから申し上げてるように、高学年の子がすごく少なかったら、やる対象の子も考えないといけないと思いますし。

○濱田副議長 学校の方も行け行けとは言わないしね。もし、事故った時ね。自主的に申し込んだ分はいいけど。

○井上課長代理 土曜日ですので、学校休業日ですとはいえ、各小学校はやっぱり校区内でっていうようなのがね。このあたりもう委員の方々に、まだ締め切りまで3日、4日ほどありますので、お近くでこういう情報を、また宣伝していただけたらな

と思います。

○川人委員　　これ往復はがきで申し込むっていうのは、一般的にいうと、申込みにくいですね。それをフリーにしてしまうと、それ以上のもう想像以上の数が出る可能性があるかもわからないし。

○井上課長代理　　そうなんです。

○川人委員　　もうこの数にしてるのかもしれないですけどね。

○井上課長代理　　ちょっと全く初めてだったんですけども、市民協働課では別途また違う子どもたちを集める事業もしてまして、いろいろ考えた結果、今年に関してはこういう形にしたんですが、またちょっと高学年続けるかどうかとか、やり方は今後は考えていかないと考えてます。

○西野委員　　1回やってみなわからない。

○田中議長　　抽せんするぐらい申込み多かったらいいねんけどね。低学年は抽せんですか。

○小谷委員　　親子同伴っていうのがなかなか。

○西野委員　　高学年になったら、だんだん行く気なくなってくるよね。

○杉原委員　　年齢詐称して、低学年で行く子はいないか。

○大野課長　　先ほどの校区外に出るっていうところで、やはり親子ということにならざるを得ないんです。

○井上課長代理　　子どもだけで出ていいよっていうのを区側が学校を經由して宣伝できるのかってなった時に、高学年も。それももちろんわかった上でなんですけどもね。非常につらい選択やったんです。

○西野委員　　どうしてもそのスポーツセンターに近いところが、子どもたちで行くということになったら、遠い近いとかあると思いますので、どうしてもその会場に近い方が申込み多いのかなとは思いますがね。

○田中議長　　去年から区子連のスポーツ大会、運動会もスポーツセンターを借りてや

るようになったんです。雨天の場合は、中止しないといかんでしょ。今年は工事するのかな。耐震工事か何か。

○大野課長 つり天井ですね。

○田中議長 東成スポーツセンターは、去年スポーツ大会行った子は行ったことあるはずやからね。全校下の児童が行ってるからね。それまで小学生がスポーツセンター行くということないですね。

他何かお気づきの点ありませんか。意見もないようでしたら、これをもちまして意見交換会を終わらせていただいてもよろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

それでは、29年度は特に子ども・教育部会はテーマを設けていませんが、本部会といたしましては、本日出されたさまざまな意見について、今後の部会で検討し議論を進めていきたいと思えます。本日の議題は以上で終了し、区役所の方に進行をお返しします。議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。よろしく願います。

○中須賀課長 スムーズな議事進行にご協力いただきまして、改めてありがとうございました。以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきます。

本日皆様方からいただきましたご意見につきましては、今年度の区政運営、あるいは、また来年度の運営方針の作成に当たり、参考とさせていただきたいと考えております。

なお、来月7月12日の水曜日に、区政会議の本会議の開催を予定しておりますので、ご出席のほどよろしくお願いしたいと思います。

これをもちまして、平成29年度第1回目の子ども・教育部会を終了させていただきます。

ありがとうございました。